260928_0057.MP3　14MB ・ 15:15

飼料用米・超多収品種で日本の食と農業の要　水田を守る

秋川牧園・生活クラブ　飼料用米生産者の会
2026年9月28日（月）７：００～１７：００　飼料米視察会
山口市・幸崎公園集合　開会　順次圃場視察

２０２６年第２回　飼料米視察会（締め部分の挨拶など）

最後の夢ファームの後の、関連の施策圃場で仮ナンバー３２２の評価について
および関係者の参加しての感想を述べていただきました。

オオナリよりも少し早くされると思いますので夢青葉だと倒れるから作りにくいけどっていう方にはこれが登録されたらぜひお試しいただければなと思います
収量はですね、相当あると思います。オオナリには及びませんけれどもかつての夢青葉よりは取れるんじゃないかなと思います。穂が非常に特徴的で、一穂でですね私まだ数えてないんですけど秋川牧園さんに数えていただいたら 300 あったとかっていう話もありますんで普通それぐらいもみ数がつくとですね、実らない粒も出てくるんですけど322号は結構実ってですね、たくさん取れるというのが特徴です
残念ながら欠点がありましていもち病に弱いです。
夢青葉と同じぐらいやられるということがこの現場でよくわかったので、あんまり毎年いもちが出るようなところだとちょっと厳しいかなとここもそんなに出ないはずなんですけれども一回防御してもらっても少し出ているのでいもちに関しては注意が必要かなと思っております。
もしよろしかったらぜひご検討ください。ありがとうございます

続いて計測結果の方を発表お願いします。
夢ファームさんの再開322です。
稈長の方が95.2cm、穂長が18.4cm、穂数が17本/株、平米あたりの穂数が314本/m^2位となっております。

続いて病害虫の状況をお願いいたします
割ときれいに見えるんですが、いもちは出ていません。ほとんどないです。ただ穂いもちは結構出ています。（補足：全体が割ときれいに見えて葉のいもち病（葉いもち）がほとんどなくても、稲穂の根元や枝の部分に菌が侵入する「穂いもち」は、収量や品質に直結する非常に注意が必要な状態です）

ちょっと実が入った後で病犯が出ているので遅くに感染したのかなとだからホクビ（補足：「ホクビ」というのは恐らく、斑点米カメムシ類やいもち病などの防除によく使われるコンビネーション剤（例えば、キタジンPやほかの農薬との混用、あるいは特定の商標名）や、あるいは「北肥（ホクヒ）」などの地域的な防除暦の略称を指しているでしょうか。また、「歯行いもち」は「穂首（ほくび）いもち」や「葉（は）いもち」の言い間違い・誤変換である可能性が高いです。）だけの防御では防げなかった本当は歯行いもちの防御が必要なのかなと思います以上です
ありがとうございます以上ですけど
ちょっとじゃあウンカの抵抗性はあるの？はい？
ウンカの方は？
はい、トビロンカへの抵抗性は特に強いということはありませんので、テクサロンは必須です。（補足：テクサロンは、トビイロウンカに対して非常に高い防除効果を発揮します。
テクサロンのウンカ類への効果特徴
・ トビイロウンカへの優れた効果: 新規有効成分トリフルメゾピリム（ゼミウム）を配合しており、従来の薬剤に抵抗性を持ったトビイロウンカやセジロウンカ、ヒメトビウンカに対しても強力かつ安定した効果を示します。

・ 長い残効性：育苗箱処理を行うことで、水田への本田移植後から長期間にわたってウンカ類の密度を低く抑えることができます。
・ トビイロウンカに「特に強い抵抗性がない」場合でも：近年、ウンカ類は海外からの飛来状況や地域によって既存薬への抵抗性発達が著しいため、トビイロウンカの多発生が懸念される地域や、確実な初期防除を行いたい場合には、テクサロンによる防除が極めて有効な選択肢（必須）となります。）

ここでえーと皆さんお疲れ様でした、今日はここで一応終わりです
終わりですけどもえーと感想を言ってもらいましょうか。
是非来られたので感想をじゃあ先生からどうですか。
すごいですね、すごいなんてないかも、なんてないかもなんてないかよいしいよ

こんにちは谷口といいます。
今日はどうもありがとうございました。大変勉強になりました。私社会科学なのであの栽培のことについてはね詳しいことはよくわからないんですけども、結構飼料米の場所について見てきたって経験とですね広域にわたっていろいろな方が熱心にやってですね、それが一つの体系のもとに組み合わされているということで大変な感銘を受けました。おそらくですねこういうことを見たことない人から見るとこんなことを日本の農業者やってるのかとまたそれを組織している人がいるんかということは大変驚くんだろうと思います。逆に言うと私はそれをあちこちに広げてとりわけこっちの市の 12 月頃に多分最終的な水化所と関係の城読前等に関わる単価が決まるんだと思いますけどもまだ決めてないということ自体はおかしいんですよね。来年何日作るかってことで 12 月末にならなきゃ分からないようじゃね本当はおかしいんだと思んですけども現実はそうなんですねですから。逆に言えばそれであればあるこそあればあるほどですね
しっかりとした短間ですねこれをやってやりがいあるなぁと思う
ようなものにするように形論陣を私なりにあの陣営なんかついて張っていきたいと思っております。
大変今日はどうもありがとうございました。勉強になりました。

えっと、あの、飼料米振興協会で、まあ、前、
丹陸先生と一緒に、あの、飼料米の方もずっとやってきました。
まあ、約 20 年以上やってきましたけど、まあ、あの、本当ここは全国の今、飼料米をやってる、一番最先端行ってます。違いないです。ですから、これ、本当に日本農業の宝です。これをどう育てていくかね意向性的にまた弱いとかね欠点ありますだからそこら辺をこれからどんどん改良して、包がれて作れる
ような仕事をしています。だからどんどん片岡先生に、要望をつけてください。
こうしてくれと。だいたい 10 年経つとできます。うまくいけばですよね。技能的観測ですけど。
だけど本当にあのオオナリもそうですけど高成を最初私が作って 20 年以上前ですけどやっぱり脱出量があるんで 11 月ほど買ってるとかなり脱出したんでなんとかしろって言うんで農研工の加藤先生にフレームをどんどんやったらちょっと待てと言って 12 年かかってやっとできましたオオナリがそんな形で研究現場をやっていますですから皆さんの声が直接届くというのは非常に貴重な場です。
今日非常に私も勉強になりました 8 月にも来ましたけどのっぱない姿を見て本当に一安心しています
皆さんと一緒に頑張りたいと思いますよろしくお願いいたします
今日はありがとうございました

飼料用米で事務局長をしております若狭です。
先ほど参加されてる農家の方がですね、「このようななんていうんですか評価会っていうか、視察会っていうかね、こういうものをやってる企業が他にあるんだろうか」っていうふうに言われましてね。
私も改めて思ったんですが、正直言って各企業がお互いの内情をさらけ出して、お互いに批判もあるいはお褒めも含めて受け入れして、それで自分の次の発展につなげていっている。
そのために各々の代表者の方が積極的に出てきてるねこういう集まりって正直言って他の企業ではねノウハウだ、うんぬんかんぬんだで、秘密だって話でほとんどやられてないっていう風に改めてこの飼料用米でね、この秋川牧園さんと含めてですね皆さんでやられてるっていうことに対して改めて今日ね今までずっと話はこういうことも含めてそれで今年やったよって話も聞いたんですが、２回目やるって言うんでやむをやまれずですね、出てきたんですが、本当にそういう意味で先ほど谷口先生が言ったようによかった

来てよかったという風に改めて思っております。本当に皆さんありがとうございました。

お疲れ様でした。
私も現場はなかなか、ゆっくり見せていただくことなくて、今日大変勉強になりました。結構皆さん上手に作られてて、品種改良必要なのかなとか、ちょっと思っちゃったりもしたんですけど、いろいろ問題点もあるというところも認識しましたので、また持ち替えてですね、品種、新しい元もまた届けられますように努力したいと思いますありがとうございました。

農研機構の清水ですけれども今日はどうも、ありがとうございました
これだけ多くの方々でですね、まとまって一つの目標をこの辺りにしまして、皆さんの熱量も非常に感じることができました。
我々品種を作る側なんですけれども今日の現場を見てみて、まだまだもっともっと皆さんに楽して作っていただけるような楽して一定の収量を取れて安心して作っていただけるような品種をこれからも改良し続けなければいけないと思った次第です。
今日ここに新しい品種がありますけれどもこれもさっき片岡が言いましたようにまだ欠点もございますので我々もこれから改良し続けていきたいというふうに感じています。
引き続き末永くですね、どうぞよろしくお願いいたします。
本日はどうもありがとうございました

若いんで。
今から農研機構を背負ってた
ちょっと挨拶しております
ここの名前は何台か今は再開 322 号ですけど、僕もほぼこんなにいっぱいの現地回っていろいろ見させていただく機会というのはほぼ初めて、近江と非常な現場を巡らせていただいて本当にありがとうございました。今後もっといい品種が届けられるように頑張っていきたいなと思いました。よろしくお願いします

中四国農政局の上田と言います。
ほぼ毎年うちの農政局長や次長がこちらの方に参ってちょっと視察というかいろんな飼料米を見させてもらっていると聞いておりましたのでまさかこんなにたくさんの品種の飼料米があるということを今回初めて知りました。
株数も多く、とても太くてですね、こんな機会に生まれたことにすごく感謝しております。
ありがとうございました。
また来年もですね、ぜひ、農政局、山口県拠点、ぜひ読んでいただけたらありがたいなと思います。
今日は本当にありがとうございました

本日ですね、皆さんの圃場を見させていただいてですね、非常にレベルが高い視察会になったかなと思います。
昨年度もですね圃場を見させていただいたんですけど、昨年度のですね欠点が見事に改良されている改善されているですね。生産者の方もまたいらっしゃいましたので。今後もですね引き続き、視察会、農場管理等ですね続けていただけたらなと思います。

はい以上になります
大変な中をありがとうございました。
ちょっとあの全農の皆さんと、あと山本コーポレーションの皆さんとかの関係で、社長が代表していただけると。

山本コーポレーションの白石です。
本日はマーク 10 コーポレーションの皆さんお疲れ様でした。
今回 2 回目の計測が終わりまして、次は 12 月ですかね、生産者会議がまたあると思いますので、その時に皆様の収量が出て、結果が分かると思いますので、その時私も楽しみにしておりますので、これからまだ

暑い中大変だと思いますが、頑張って収穫していただくようよろしくお願いいたします。
本日はありがとうございました。ご苦労様です。
生産者会議ってまた 12 月にやりだしてですね

こちらでいいですか?お疲れ様でした。秋川牧園の生産部の平野です
12 月 15 日火曜日を生産者会議の予定をしておりますのでお忙しい中ですがよろしくお願いいたします。

じゃあどうも皆様お疲れ様でした最後までご
参加いただきまして本当にありがとうございました今日はいろんなゲストといいますかいろんな方に参加いただきましたので例になくまたちょっと厚みのある良い視察会になったんじゃないかなというふうに思っております
また前回は水不足ということも大変心配してやはりちょっとその影響はあったかなというふうには思いますけどやっぱり掃除で皆様のご努力でですね順調に生育が進んでいるんじゃないかとそういうことで嬉しく思っているところです。
次は 12 月だと思いますのでまだ収穫まで時間があるかと思いますのでぜひしっかり収量をとっていただいてまた 12 月にお会いしたいと思います。今日は本当にお疲れ様でした。
ありがとうございました
お疲れ様でした。では最後まで気をつけてお帰りいただけたらと思います。
ありがとうございました。どうも。

これで全て終わりました。